

- 研究計画・評価分科会では、第5期科学技術基本計画を踏まえて研究開発計画を策定し、各分野の計画の進捗を把握、課題の抽出及びフォローアップを行うこととしている。
- 研究開発計画策定後、量子科学技術委員会において「量子科学技術（光・量子技術）の新たな推進方策 報告書」が取りまとめられたこと、国家戦略である健康・医療戦略が一部変更されたこと等の状況の変化に伴い、研究開発計画の一部改訂を行った。

修正点

○量子科学技術分野

「量子科学技術（光・量子技術）の新たな推進方策 報告書」が取りまとめられたことを受け、「重点的に推進すべき研究開発の取組」及び「研究開発の企画、推進、評価を行う上で留意すべき推進策」を追記修正。

○ライフサイエンス分野

国家戦略である健康・医療戦略の一部変更等に伴い、アウトカム指標を修正。

○情報科学技術分野

研究開発計画のプログラム評価と政策評価の関係及び目標と指標の考え方を整理し、アウトプット指標及びアウトカム指標を修正。

（参考）研究開発計画

第5期科学技術基本計画を踏まえ、今後10年程度を見通し、おおむね5年程度を対象期間として、重点的に実施すべき研究開発の取組及び推進方策等を取りまとめたもの。新たに中目標を単位とする研究開発プログラムの評価を実施すること等、本分科会における評価の在り方についても記載。

第1章 未来社会を見据えた先端基盤技術の強化

情報科学技術分野、ナノテクノロジー・材料科学技術分野、量子科学技術分野

第2章 環境・エネルギーに関する課題への対応

環境エネルギー科学技術分野、核融合科学技術分野

第3章 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応

ライフサイエンス分野

第4章 安全・安心の確保に関する課題への対応

防災科学技術分野

第5章 国家戦略上重要な基幹技術の推進

航空科学技術分野、原子力科学技術分野

第6章 研究計画・評価分科会における研究開発評価の在り方